

## 令和4年度「AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金（新技術を用いたサプライチェーン全体の輸送効率化推進事業）」に係る補助事業者の継続審査の結果について

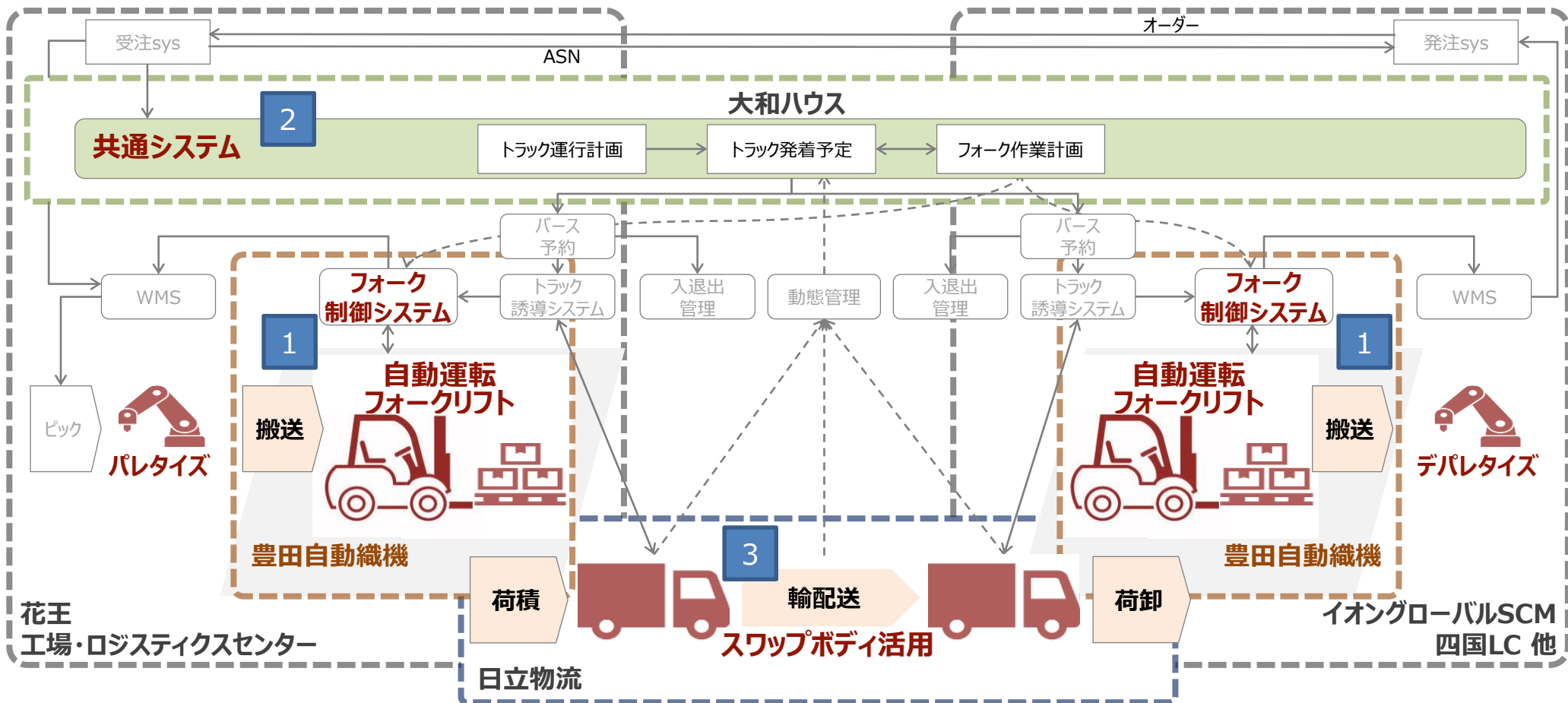
令和4年度「AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金（新技術を用いたサプライチェーン全体の輸送効率化推進事業）」に係る補助事業者について、令和4年2月に継続審査を行った結果、次のとおり補助事業者を決定しましたのでお知らせいたします。

<b>事業者</b>	大和ハウス工業株式会社
<b>事業名</b>	自動運転フォークリフトを利用した物流拠点およびトラック消費エネルギー削減実証事業
<b>補助金額</b>	90,693,060円（補助率1/2 ※令和4年度のみ補助額）
<b>事業の特徴</b>	サプライチェーンにおける課題である物流結節点での効率化に着目し、輸送事業者と荷主との共通システム連携に加え、結節点でのパレタイズシステム、自動運転フォークリフトおよびスワップボディ導入によるトラック荷待ち時間の削減等を図る。荷主や輸送事業者には大手企業が参画・連携し、今後の横展開も十分に見込まれる事業である。（事業実施期間は3ヵ年を予定）
<b>省エネ率</b>	▲ 15.0%の省エネ効果を見込む

# 自動運転フォークリフトを利用した 物流拠点およびトラック消費エネルギー削減実証事業

## 事業の概要

サプライチェーンの結節点である物流センターの“入荷”と“出荷”に着目し、積卸し業務への自動運転フォークリフトの活用による課題の解消と、発着荷主間のデータ連携を実現することでのトラック待機時間の削減等を図ります。これらによるサプライチェーン全体の効率化、エネルギー削減を目指します。



- 1 自動運転フォークリフトを用いた物流施設の「入荷」と「出荷」の自動化
- 2 サプライチェーン全体の効率化を実現するための事業者間のデータ連携
- 3 発着荷主間でのトラックの待ち時間短縮による効率化、エネルギー削減

# 自動運転フォークリフトを利用した 物流拠点およびトラック消費エネルギー削減実証事業

## 事業全体計画と参画企業

事業期間としては令和5年度までの予定とし、新たに構築するマテハン技術、情報技術の確立と、広く物流業界で活用できるようにするための実証を重ねていきます。

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
自動運転フォークリフトによる トラック積卸し技術確立		基本技術確立 → 精度、スピードの改良	実証対象の拡大と改良
事業者間共通システムによる 積卸しとトラック運行計画の連係		システム開発 → システム活用によるレベルアップ	
各種効率化機器の活用による レベルアップ		パレタイズロボット、 スワップボディ等との連係	

サプライチェーン全体の関係事業者5社が共同して、サプライチェーン強靱化のための技術検証と提言を行います。

